

## 令和3年度 第1回いじめ総点検結果報告

- 1 日 時 令和3年9月8日(水) 10:00~12:00
- 2 会 場 校長室
- 3 日 程 10:00~10:50 現状の聴き取り、協議  
10:50~12:00 グループワーク(シミュレーション)
- 4 出席者 県教育庁生徒指導課いじめ対策室副参事、支援相談班副参事指導主事、弁護士(スクールロイヤー)  
本校PTA役員3名、本校教職員7名(管理職、いじめ対策推進教員、生徒指導主事、各学年1名)
- 5 報告事項

### (1) 現状の聴き取り・協議

現状の聴き取り・協議では、いじめ総点検チェックシートの確認を行い、自校体制(行動計画及びマニュアル、校内研修等)、自己点検(教職員の認識及び取組)についてご指導をいただきました。

本校のいじめ防止対策は、良好であるとの評価をいただき、今後の対応ポイントについて下記のとおり説明がありました。

#### 指導の主なポイント

- スクールカウンセラー等の外部機関とより一層連携を深めながら対応に当たること。
- SNSトラブルからいじめにつながるケースが増加傾向にあるため、継続して注意喚起を行うとともに教職員に対しての研修も取り入れていくこと。
- アンケートについては、スマートフォンを活用するなど生徒が回答しやすい方法を工夫していくこと。
- 面談を行う際は、担任のほか話しやすい先生やスクールカウンセラーにお願いするなど柔軟に対応していくこと。
- いじめを根本的に防止するためにも、人権教育のさらなる充実を図ること。

### (2) グループワーク(シミュレーション)

後半のグループワークでは、3つの場面(いじめ事案について、①報告から第一次判断まで、②生徒への聴き取り、③保護者への説明)について、参加した先生方で役割分担をしてシミュレーションを行いました。場面ごとにシミュレーションを行った後、下記のポイントについて説明がありました。

#### グループワークの主なチェックポイント

- 報告から第一次判断までを組織的にやっているか。
- いじめの疑いがあると認知し、その後の対応策を組織で検討したか  
※ 聴き取りの方法、保護者連絡など
- オープンクエスチョン形式(はい、いいえで答えさせるのではなく生徒に話をさせる)で聴き取りが行えているか。
- 保護者連絡の内容等、聴取後の職員の打合せが組織で行えているか。
- 保護者の気持ちに寄り添った対応ができているか。家庭での見守りを依頼しているか。

## 6 講 評

- (1) 本校のいじめ防止対策は、概ね良好であり、今回のいじめ対策総点検での指導等を参考にしながら今後も引き続き適切に対応願いたい。
- (2) いじめ防止対策は、法で定められていることから遵守しなければ違反となることを念頭に、今後とも対応願いたい。
- (3) 正確な議事録をとるためにも議事録作成は、司会が兼ねて行うのではなく司会以外の一人が行うこと。  
また、主観や推測は入れず事実を記載する必要があること。
- (4) 面談においては、担任だけではなく生徒が希望する教職員や必要に応じてスクールカウンセラーなどが面談を行える体制が必要である。
- (5) いじめ自己点検での、誤回答が比較的多かった質問について解説を行うこと。←対応済み
- (6) 生徒への聴き取りのシミュレーションは、適切であり良かった。

○ 参加されたPTA役員の方から、教育委員会と学校がこのような取り組みをおこなっていることは大変よいことである等の感想をいただき、本校のいじめ防止対策について知っていただくよい機会となりました。ありがとうございました。